

懇談内容について

「管内の実態に応じた特色ある取組の推進について」

1. 人材の確保と育成，配置について。(中島・福井)

- (1) 休職補充が遅滞なく行われるよう，未補充の現状と今後，市町村教委との連携について。
- (2) 地元出身の人材が減少していることに対する今後の人事異動の方向性について。
- (3) 翻訳に携わる職員の業務の負担増と人員の拡充について。
- (4) スクール・サポート・スタッフの配置について。

2. 働き方改革について (中島・福井) 2年度の県，事務所の方針について知りたい

- (1) 勤務時間の適正化と業務量の適性化を両輪で行うことについて。
 - ・子供にとって意味のある背面掲示について。現場に簡略化が浸透しているか？
 - ・参観者にとって意味のある指導案の内容について。事務所からの指導の確認
 - ・給食費の請求，アンケートの集計，学年会計等，従来教員が担ってきた業務の軽減について。
 - ・実践論文の執筆者の決定について。機械的な割り当てやノルマでなく希望制にしてほしい
 - ・勤務の適正化に関する今年度の管内の状況，働き方改革に関わる来年度の可茂教育事務所の方針について。広見小について
 - ・夏季休業期間中の行事について。
- (2) その他，働き方改革について。

3. 児童・生徒の安全対策について (花房)

- (1) 管内の学校のエアコン（クーラー）の設置見込みについて。
予算の確保状況を事務所は知っているか
- (2) 夏季における休み時間等の外遊び実施の判断に関わる基準の気温の設定について。

4. 特別支援教育について (村瀬)

- (1) 特別支援学級や通級指導教室の新規開設の方向性について。
- (2) 特別支援学級担任や通級指導教室担当の負担の軽減について（支援員の配置，担当児童生徒数の偏りの調整，特別支援コーディネーターとの兼任，重度な障がいがある児童生徒の受け入れ体制の整備）。